審判上の注意事項

1. リベロはチームキャプテンにもゲームキャプテンにもなることができます。
2. リベロは、チームの他の選手と、主要な部分の色が異なるユニフォームを着用しなければなりません。ユニフォームの色は、チームの他の選手とは明らかに対照的でなければなりませんが、２人のリベロはチームの他の選手と異なる色で、さらにお互いに異なる色のユニフォームを着用することもできます。
3. 監督はプロトコール時にスコアシートにサインをします。また、チームキャプテンはトスの前と試合終了後にサインをします。
4. トスは、前の試合終了後、レフェリーの立ち会いのもと、チームキャプテンがスコアラーズテーブル前で行います。トス終了後、直ちに公式練習に入ります。
5. 公式練習は、最初のサーブ権を得たチームから３分間ずつおこないます。なお、合同で６分間の練習をおこなうときはファーストレフェリーに伝えてください。公式練習には、その試合にエントリーされたメンバー以外は参加できません。公式練習終了後、選手は全員エンドラインに並び、挨拶・握手をした後に、全員自チームのベンチに戻ります。
6. セット開始時には、選手はエンドラインに整列せず、ベンチより直接コートに入ります。セット終了後は６人のプレーヤーは一度エンドラインに整列し、ファーストレフェリーの合図に従ってコートチェンジし、支柱を越えたら直接自分のベンチに戻ります。
7. ３セット目、どちらかのチームが13点に達したとき、コート上のプレーヤーはエンドラインに整列してから、ファーストレフェリーの合図に従って向かって右側の支柱の外側を通り、コートチェンジします。
8. 競技中は常にフェアプレーに徹してください。軽度の不法な行為にはチームに警告を与えますが、無作法な行為・侮辱的な行為・攻撃的な行為をした場合は、その程度により〈反則〉・〈退場〉・〈失格〉の罰則が科せられることがあります。
9. タイムアウトは、監督により要求されます。監督が不在の場合で、監督の役割を引き継ぐアシスタントコーチもチームにいない場合は、ゲームキャプテンが要求することができます。また、要求は公式ハンドシグナルを用いておこなわなければなりません。
10. 選手交代の要求をおこなうときは、監督・ゲームキャプテンのハンドシグナルを示さずに、交代する選手は速やかに選手交代ゾーンに入って待機します。交代するコート内の選手も手をあげ、番号をスコアラーに明示し、セカンドレフェリーの指示で交代します。同時に２組以上の選手交代をするときは、すべての交代する選手は同時に選手交代ゾーンへ出向かなければなりません。この場合、交代は１組ずつ連続して行われます。
11. 競技中は、コート外の選手はベンチに座っているか、ウォームアップエリア内にいなければいけません。ウォームアップエリア内では、ボールを使用したウォームアップはできません。
12. 監督は試合を妨げない、または試合を遅らせない限り、自チームベンチ前のアタックラインの延長線からウォームアップエリアまでのフリーゾーン内で、立ちながらでも歩きながらでも指示を出すことができます。
13. タイムアウト中、選手はコートを離れなければなりませんが、その位置については制限されず、30秒を待たずにコートに戻ることもできます。但し、タイムアウトの時間が短くなることはありません。